

平成29年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間:平成29年4月1日～平成30年3月31日

施設名	大和市下鶴間児童館
指定管理者	大和市コミュニティセンター下鶴間会館管理運営委員会 会長 都志 敬太
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

- ・児童館施設の承認に関する業務

児童館名	幼児	小学生	中学生	その他 (高校生付 添父母等)	合計	1日平均 (人)	開館日数
下鶴間	296	3,707	772	365	5,140	17	307

- ・児童館の事業および管理運営に関する業務

火曜日～金曜日と日曜日正午～午後5時30分まで、土曜日は午前10時～午後5時30分まで（月曜日と12月29日～1月3日の休館日を除く）職員1名以上の常時配置、児童館としての自主事業の実施および児童の遊びや生活の指導、施設内巡回、消防訓練の実施、施設内の安全確保について仕様書に定めるとおり適切に実施した。

- ・自主事業の計画及び実施（主な事業）

事業名	開催期間	参加者数
1年生へのプレゼント（しおり）	4月上旬	16人
5月の工作（デコパージュ）	5/23～31	40人
七夕のつどい（会館共催・スイカ割り他）	6/25	113人
安心安全こども映画会	7/21	25人
避難防災訓練	7/21	23人
8月の工作（スライム）	8/1～20	88人
9月の工作（フェルトの小物入れ）	9/5～17	30人
コミセンまつり（会館主催）	10/7	200人
11月の工作（スノードーム）	11/14～26	33人
クリスマス会（会館共催・人形劇）	12/9	73人
1月の工作（カレンダー）	1/9～21	31人
2月の工作（するくるりん）	2/6～18	8人
おたのしみ会（影絵・ムカデじゃんけん）	3/10	58人
3月の工作（クリアホルダー）	3/13～25	42人

【事業実施状況に関する補足説明】

特になし

2. 収支決算概要

(単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に払った金額)	2,640,000	雇用関連経費 (指定管理者が雇用している職員の給料、諸手当、福利厚生費等の金額)	2,375,695
雑入 (預金利息等)	0	事業費 (指定管理者がイベント等事業実施のために支出した金額)	111,492
収入計 (①)	2,640,000	支出計 (②)	2,487,187

収支決算	152,813
------	---------

※収支差額 152,813 円は、平成 30 年度特別会計に繰り入れます。

【収支決算に関する補足説明】

特になし

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、平成 30 年 3 月に利用者アンケートを実施し、平成 29 年度事業について利用者より意見聴取を行いました。

<p>評価の視点 1：施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の利用事務については、条例等に則り適切に行なわれています。 「スタッフの対応」について、前年度同様に利用者アンケート回答者の 100.0%が「よい」～「ふつう」と回答しており、継続して高い水準を維持している点を評価します。 日頃の事業については、ポスターやミニチラシを直接配布することで情報周知を行い、地域における平等な利用の確保に努めています。 児童館利用者数が前年度比 98.1%と若干減少していますが、月間では 100.0%を超える月もあったことから、今後は成果のあった取組みについて振り返り、利用者の意見を精査し、更なるサービスの向上が図られることを期待します。
<p>評価の視点 2：施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な自主事業を実施し、地域での青少年健全育成に努めています。 毎月行われる「コミュニティの日」では卓球教室や囲碁・将棋教室等、利用者が継続して児童館に通う機会となりうる企画を定期的に行っている点を評価します。 月替わりの工作では、子どもたちの発想を引き出せるように、工作見本作成する等して工夫している点を評価します。 自主事業の企画内容や成果については、児童館指導員連絡会等を通じて積極的に他館へ情報発信することを望みます。また、他の児童館の人気イベントの事例を参考にしながら、児童により多くの体験の機会を与えられるような、企画の広がりを期待します。
<p>評価の視点 3：施設の適切な維持及び管理が図られたか</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災や事故防止の対策をとり、日常の清掃が適切に行なわれる等、地域全体で安全な施設を維持するための取り組みが見られます。
<p>評価の視点 4：施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営を安定的に行う上で十分な財務状況と判断します。 指定管理会計の収支決算は適切に処理されています。